

# 1年かけ被災者の声集め

さいたま市桜区の給食調理員、堀切さとみさん(46)が、福島第一原発事故の影響で加須市に避難している福島県双葉町民に密着したドキュメンタリー映画「原発の町を追われて―避難民・双葉町の記録」(40分)を制作した。東京都港区で開催される「レイバー映画祭2012」で21日、上映される。旧騎西高校に1年以上通って被災者の声を集めた作品で、堀切さんは「双葉町の現状を知ってほしい」と訴える。

【大平明日香】

## 集団避難

### 「双葉町」から

堀切さんは、1999年に発生した茨城県東海村のJCO臨界事



双葉町のドキュメンタリーを制作した堀切さん  
―加須市の旧騎西高校で

故で原発の思いを強め、日本の原発の現状を調べ始めた。08年には山口県上関町の離島・祝島で上関原発に反対する島民の姿を3分間の作品にまとめている。昨年3月の原発事故で双葉郡の被災者がさいたまスーパードキュメンタリーを制作した際、炊く町民が吐露して

き出しを手伝った堀切さんは「みんないつ戻るのか不安に思っているはず」と感じ、ブログで被災者の声を発信し始めた。双葉町が加須市に避難することが決まると、ある男性

## さいたまの堀切さん

# ドキュメンタリー映画に 東京で21日上映

れた。仕事帰りの平日夜や土日に高校へ通い続ける、撮影に理解を示す町民が次第に増え、インタビュー映像も撮れるようになった。労働問題をテーマにした「レイバー映画祭」では、海外作品の他、堀切さんら市民が撮影した3・11関連の作品など計7本を上映する。東京都港区の田町交通ビル6階ホールで、午前10時～午後5時15分。当日1500円、前売り券1300円。問い合わせはレイバーネット日本事務局(03・35330・8588)。

当初はカメラを回さず、ひたすら話を聞いた。原発を信じていたこと。多くのものを失ったこと。「誰かに話をしたかった」と、多くの町民が吐露して

した。

作品には昨年3月から今年4月までの約1年分を編集した。「これからも町民の変化を見ていきたい」と現在も撮影を続けている。

いすれ長編作品にして町民に見てもらうつもりだ。